

おいもほりへレッツゴー！！

対象児：4歳児 きく組
作成者：坂本七海
作成日：2022.11.14

○ねらい 秋の自然を感じ、友だちと一緒に活動することを楽しむ。



みんなでバス楽しい



根っこを切ったら
ええんよ！



いっぱい採れた！



○保育の振り返り

秋と言えば焼き芋！手遊びや絵本、製作を楽しみながら秋の自然に親しんできました。お芋ほりでは、『軍手』をつけることが嬉しかったようで、「〇〇くん何色？」「あ！先生のと一緒や！」と朝から軍手の話題で盛り上がっていました。芋畑まではバスで行き、提供して下さる方やお手伝いの方に「おはようございます！」と自分から挨拶でき、気持ちの良い秋晴れの中、たくさんのサツマイモを掘ることができました。「めっちゃ採れたけんあげる！」「ありがとう！」と自分の掘ったサツマイモを友達に手渡す姿や、「これ固すぎ！一緒に掘ろう！」「こっちにもあるよ！」と協力する姿、勢いのあまりスコップで掘った土が友だちにかかってしまった時に「ごめん！」とすぐに伝える姿があり、子ども達同士の関係性や絆がよく見られ、成長を感じました。保育者が、「お兄さんになったね！」「ごめんねって言えたね！」と子どもの姿を受け止めて言葉にすると、子ども自身も誇らしげな様子でした。サツマイモを大切に育て、畑を提供して下さった方のお話を聞き、園に帰ってからも「にんじんも誰かが作ってくれたんやな。」「みんな残さんと食べるよ！」と野菜を育ててくれた人、運んでくれた人、作ってくれた人に感謝しながら食べることができました。

見守りの中で子どもの成長に気づく場面はたくさんあります。「成長したな」と感じるだけではなく、言葉にして喜びを共有できるように心掛けていきたいです。（社会生活との関わり、言葉による伝え合い、自然との関わり・生命尊重）